

様式第5号

出張調査報告書

令和 4年 10月 31日

松伏町議会議長 増田 等 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 川上力

下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	令和 4年10月27日
2 視 察 地	(1) 埼玉県越谷市
3 視 察 目 的	(1) 越谷市におけるドローンに関する災害協定について (2) トイレトレーラーについて (3) 避難所開設訓練について
4 視 察 者 氏 名	川上 力 村上 真由美
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

出張調査報告書

党会派で行政視察を行いましたので、その結果を下記の通り報告します。

記

1. 調査年月日

令和4年10月27日

2. 視察地及び視察目的

埼玉県越谷市

- (1) 越谷市におけるドローンに関する災害協定について
- (2) トイレトレーラーについて
- (3) 避難所開設訓練について

3. 視察者名

川上 力

村上 真由美

4. 視察内容及び結果

●埼玉県越谷市

(1) 越谷市におけるドローンに関する災害協定について

① 災害協定を結ぶまでの経緯

平成25年に発生した竜巻災害を経験し、災害時における市内の被害地域に関する迅速な情報収集の必要性を認識していた。先方から、災害協定に関する提案があり、ドローンを使った迅速な情報収集の実現を図るため災害協定を締結した。

② 災害協定内容

○緊急時における小型無人機による支援活動に関する協定

- ・相手方 ジャパンテック株式会社
- ・目的 災害発生時または災害発生の恐れがある場合において、迅速かつ詳細な被災状況の把握、被害の拡大防止及び、被災場所の早期復旧等に資することを目的とする。
- ・協定の範囲 被災状況の情報収集（映像及び画像の撮影）、河川水位の確認

飛行時間が20～30分のため限定的な範囲となる

○緊急時における無人航空機（ドローン）による支援活動等に関する協定

- ・相手方 NPO 法人 クライシスマパーズ・ジャパン
- ・目的 災害発生時または災害発生の恐れがある場合における無人航空機（ドローン）による被災状況調査等の支援活動のほか、平常時から緊急時に備えて市内等の調査研究を行い、迅速な災害応急復旧活動に資することを目的とする。
- ・支援活動の実施 被災状況等の調査、撮影した情報の提供、被災状況を反映した地図の作成及びインターネット上に公開等
- ・災害協定にかかる予算並びに関連する施策と予算 特になし
- ・災害協定の日常での運用実施

ジャパンテック株式会社は、令和元年12月8日に第36回越谷市・桜井地区合同総合防災訓練に参加し、上空から訓練映像の撮影を行った。

・災害協定の効果と課題

ドローンは人が立ち入ることが困難である危険な場所も含めて情報収集することが可能であることから、協定締結により迅速な災害応急復旧活動に資するものとする。

一方、ドローンは安全性については保証がなく、墜落の危険性も想定されることや天候の影響を受けやすいこと、通信状況によっては活用場所が限られてしまうなどの課題があり、協定締結先との現場での調整が必要となる。

・今後の予定

越谷市消防局でも来年度から予算をつけて導入予定

(2) トイレトレーラーについて

1. 導入の目的（令和4年3月導入）

過去の災害において、避難所におけるトイレは、衛生面や健康面での二次的な被害が発生するなど多くの課題があり、災害時にも安心して快適にトイレを使用できる環境づくりは大変重要であると認識している。

越谷市では災害時に備え、備蓄計画に基づき災害用トイレの整備を進めていますが、トイレトレーラーは機動性と即応性に優れており更には、仮設トイレと比較して清潔であり、被災者に快適なトイレを提供できる。

2. 特徴（本体購入費：約19,540千円）緊急防災事業債を利用 国7割実質3割負担

- ① 快適に使える 4つの個室に洋式便座を配置。長期の使用でも衛生状態を維持できる。

- ② すぐ使える 車体をけん引するだけ。少ない人手で使用場所への移動が可能。充電式バッテリーが搭載されているため。被災直後で断水下でもすぐに使用できる。
- ③ 長く使える 外部電源との接続やソーラーパネルからの太陽光充電機能により、数か月におよぶ避難生活でも使い続けることが可能。

3. 本体仕様

- ・トレーラーの大きさ：全長4,265mm×幅2,420mm
- ・洋式水洗トイレ×4室
- ・使用回数：4室合計で1,200～1,500回程度
- ・下水道：専用ホースを接続し、下水設備のある場所で排出処理可能
下水道がない場合は汲み取りで対応
- ・電力：照明と給水ポンプ、換気扇等に使用 太陽光発電あり
足りない場合は発電機で補うことができる（外部電源接続可能）

4. 平常時の活用

主に市主催のイベントのほか各地区でのイベント等での活用を考えている。越谷市が被災した際には、各避難所における施設の被害状況や受け入れ人数等を踏まえ柔軟に対応していく。

- * 令和4年度10月までの実績 2回配置
- 令和5年度までの予定 3回配置

5. 導入自治体

令和4年10月25日現在、全国で18自治体が導入済み。第一号は静岡県富士見市（H.31年3月）、千葉県君津市（R.3年2月）越谷市は15台目（埼玉県初導入、関東2台目）

6. 派遣履歴

- R.4年3月導入以降
- ・R.4年台風第8号 静岡県松崎町へ派遣
- ・R.4年台風第15号 静岡県静岡市へ派遣



(3) 避難所開設訓練について

1. 目的 大規模災害の発生時に、自主防災組織や消防団等、地域住民が主体となって円滑な避難所開設及び運営を行うため、越谷市内の指定避難所において自主防災組織や消防団等が連携した実効性のある避難所開設訓練を実施する。避難所開設及び運営に関するノウハウを啓発することで、自主防災組織や避難所開設等に対する意識の高揚を図るとともに地域防災力の向上を図る。
2. 実施日程 令和4年度 6回。開催場所：出羽小学校、西中学校、大間野小学校、宮本小学校、武蔵野中学校、越谷総合技術高等学校
3. 内容
 - ・避難所立上の全体像、開門
 - ・コロナ禍、要配慮者を考慮したレイアウト
 - ・段ボールベット、簡易トイレ、パーテーションの組み立て
 - ・コロナ禍における受付の判断演習と誘導を実技。
 - ・運営委員への引継ぎ事項と日々の避難生活の運営の係りの設定

5. 感想

<川上>

ドローンの災害時の活用については、小規模な範囲(有視界)で限定的な利用のタイプと、広範囲に無線で活用できるタイプの二つがあり、二つ共に協定を結んでいることが理解できた。また、災害に関わらず川の遭難などでも活用している事例を含め、越谷市は消防局での配備の準備をしているとのこと。町もそういう場合も含めて、消防組合での配備も含めて検討する価値があると思った。ドローン協定については、予算もかからず早期の締結が望ましいと考えている。

トイレトレーラーは、防災減災事業債を活用して3割の負担で購入しているものの、国産型がなく、輸入になることから納期も遅れた経緯を聞いた。道の駅建設時に併せて準備できることが望ましいと考える。

避難所開設訓練は実効性のあるプログラムとして、町の防災訓練や、職員の参集訓練などとともに、官民連携して地域ごとに行うことが大切だと感じた。

<村上>

ドローンは災害時に人の入り込めない場所、目の届かない場所を撮影でき早く被災地の特定や負傷者の発見がしやすい。洪水で孤立して避難困難な方も見つけやすい。費用もかからない。川に囲まれた松伏町には必要だ。

トイレトレーラーは、清潔感があり安心して使用できると思った。越谷市に依頼

をすれば借りることができる。イベント時に使用できると良いと思った。避難開設訓練は、災害はいつ起こるかわからない。災害があったときに、誰が避難所に一番に着くかわからない。誰が行っても速やかに避難所開設ができると良いと思う。終了後、新しい議場や展望台の見学をした。現代的な設備の整った議場で素晴らしいと思う。

